

石川県社会福祉士会
金沢ブロック研修会

世界標準の面接技法と認知療法

-動機づけ面接と REBT から-

講師：浅沼 和敬（上荒屋クリニック・介護相談センターふれあい）

所属学会等：日本動機づけ学会・Jasmine・J-REBT 学会



申込はこちら↑

開催日時：令和 8 年 9 月 6 日（日）9:30-11:00

Zoom での開催（受付・入室 9:15 より 申込者には後日 URL をお送りします）

内容：講義＋グループワーク（ブレイクアウトルームにて少人数）

申し込み：令和 8 年 8 月 28 日（金）まで

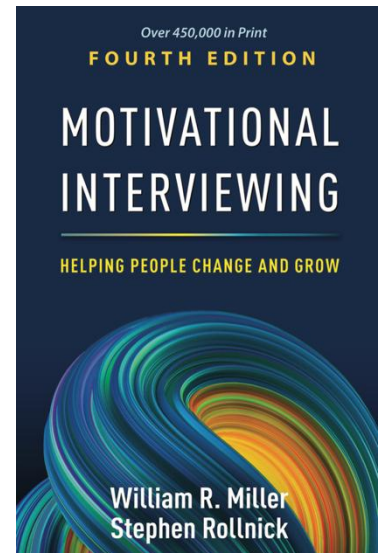
問い合わせ先：076-207-7770（石川県社会福祉士会事務局）

※ 動機づけ面接 MI：motivational interviewing

※ 認知療法（論理療法） REBT：Rational Emotive Behavior Therapy

MI：動機づけ面接と REBT という認知療法は日本では聞き慣れないかもしれませんが、どちらも世界的に効果が実証されている技術です。多数のメタ分析により、両アプローチとも臨床的に意味のある効果が確認されています。

今回の研修はまだ邦訳が出ていない Motivational Interviewing 4th edition（動機づけ面接 第4版）の内容を中心に、認知療法の仕組みを含めた面接技術の研修を企画させていただきました。



■ なぜ動機づけ面接を学ぶのか？

・MI は単なる「話し方のコツ」ではありません。MI に関するランダム化比較試験（RCT）は 2,000 本を超え、その効果が科学的に実証されているエビデンスに基づく対人支援アプローチです。そして、その方法（way of doing）と態度（way of being）の基盤となるのはカール・ロジャースのパーソン・センタードの精神です。

・職種を超えて選ばれる面接技法とその姿勢は 世界の医師、心理士、看護師、栄養士、ソーシャルワーカー、さらには教員やスポーツトレーナーまで、対人支援に関わるあらゆるプロフェSSIONアルが学んでいます。

・MI は基本技術のため、他の技法とも組み合わせて使うことができます。認知行動療法（CBT）や解決志向アプローチ、家族療法など。MI を学び続けていくことで、自分が行なっている面接技法をより強化していくことができると言われています。